

第40回西部コミュニティ協議会住民総会

# 議案書

日時：2021年4月17日(土) 14:00～

場所：西部コミュニティセンター

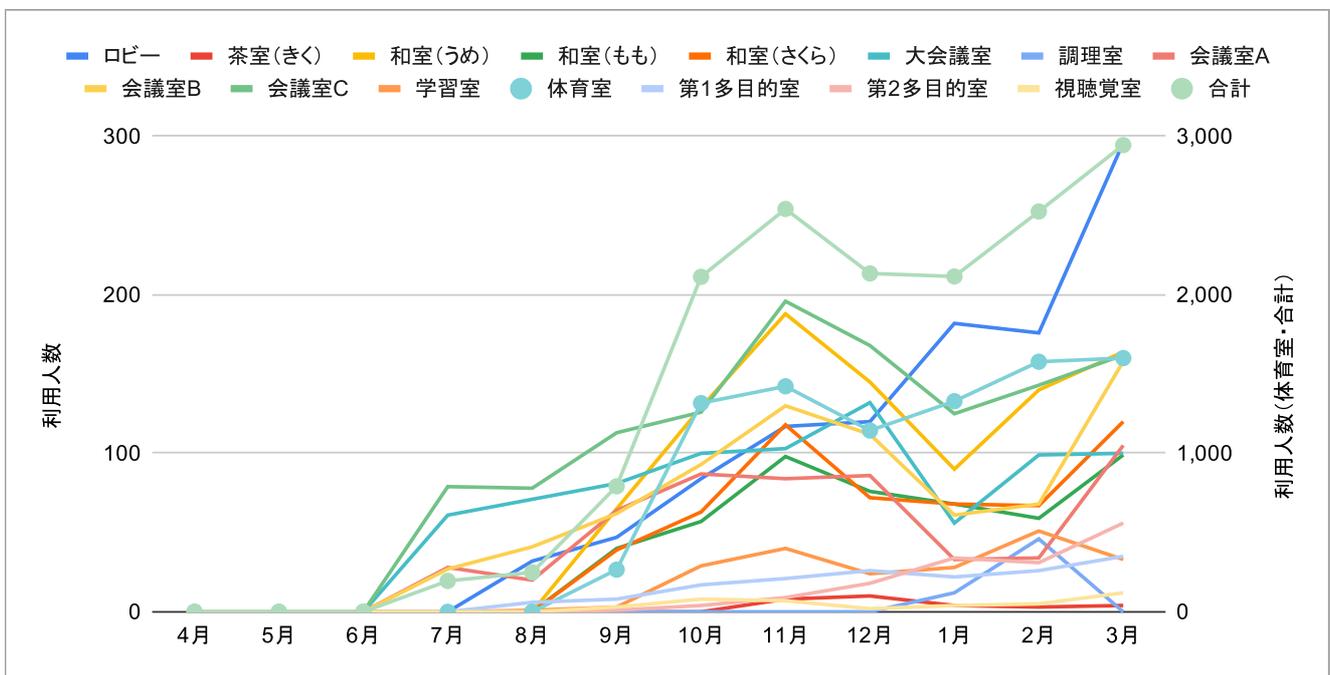
## 次第

1. 開会
2. 議長選出
3. 報告事項
  - (1) 2020年度活動報告
  - (2) 2020年度決算報告
  - (3) 2020年度特別会計決算報告
  - (4) 2020年度会計監査報告
4. 協議事項
  - (1) 2021年度活動計画案
  - (2) 2021年度予算案
  - (3) 2021年度特別会計予算案
  - (4) 運営委員の承認
  - (5) 役員・監事の承認
5. その他
6. 議長解任
7. 閉会

西部コミュニティセンター利用状況(人数/月別・部屋別)

2020年4月～2021年3月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数	0	0	0	21	27	26	26	26	24	22	24	27	223
ロビー	0	0	0	0	32	47	84	117	120	182	176	296	1,054
茶室(きく)	0	0	0	0	0	0	0	8	10	4	3	4	29
和室(うめ)	0	0	0	0	0	65	129	188	145	90	140	164	921
和室(もも)	0	0	0	0	0	40	57	98	76	68	59	99	497
和室(さくら)	0	0	0	0	0	39	63	118	72	68	67	120	547
大会議室	0	0	0	61	71	81	100	103	132	56	99	100	803
調理室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	46	0	58
会議室A	0	0	0	28	20	64	87	84	86	33	34	105	541
会議室B	0	0	0	27	41	62	93	130	112	61	68	158	752
会議室C	0	0	0	79	78	113	126	196	168	125	143	162	1,190
学習室	0	0	0	0	1	3	29	40	24	28	51	33	209
体育室	0	0	0	0	0	266	1,317	1,423	1,144	1,329	1,578	1,601	8,658
第1多目的室	0	0	0	0	6	8	17	21	26	22	26	35	161
第2多目的室	0	0	0	0	0	1	4	9	18	34	31	56	153
視聴覚室	0	0	0	0	0	3	8	7	2	4	5	12	41
合計	0	0	0	195	249	792	2,114	2,542	2,135	2,116	2,526	2,945	15,614



- ・利用者のおおよ半数は体育室を利用している。
- ・11月がピーク、1月で一時落ち込んでいる。
- ・ロビーはほぼ単調に増加している。

(参考)過去10年の利用人数推移

年度	2020	2019	2018	2017	2016	2015	2014	2013	2012	2011
総利用人数	15,614	63,008	67,689	61,454	58,422	65,695	66,519	66,476	62,852	60,041

## 2020年度活動開催状況(一覧)

開催日	活動名	備考
4月 18日 (土)	第39回住民総会	書面開催
2月 17日 (水)	健康づくり出前講座	4月から時期変更
中止	第14回武蔵境ピクニック	
中止	地域懇談会	
中止	第10回コミセンまつり	
中止	パソコンセミナー(1回目)	
中止	エンディングノートを学ぼう	
中止	カラオケ大会	
中止	防災訓練	
中止	石鹼を手作りしてみましよう	
中止	夏休みコミュニティ食堂	
中止	フレイル体操	
中止	ポッチャ大会	
中止	太極拳・気功の集い	
中止	文化祭	→ミニミニ展覧会
中止	バドミントンの集い	
11月 20日 (金)	パソコンセミナー(2回目)	
中止	年末大掃除	
1月 8日 (金)	活け花実演	
3月 21日 (日)	工作の会	1月から時期変更
中止	どんど焼き(二小・桜野小)	
2月 23日 (火)	味噌づくり	
2月 18日 (木)	防災訓練	
中止	ちびっこ運動会	
中止	卓球の集い	
3月 14日 (日)	ベーゴマ大会	
3月 28日 (日)	コミセンウォーキング	
中止	コミセンカフェ	
中止	おもちゃの病院	
中止	コンサート	
中止	運営委員研修会	
11月 9日 ~12月13日	ミニミニ展覧会	文化祭の代わり
1月 30日 (土)・31日 (日)	上映会	コミセンデー

# 2020年度活動報告

---

## ■ 活動の目的・活動評価の指針

---

コミュニティづくりを目的に、これまでの3年間下記のような指針をもっていた。2020年度はコロナ禍ということで再開後は、その時々状況に合わせ、どうすれば使えるか、どこまで使えるか、何が出来るか等、これまでとは異なる点について重点的に考えることとなった。

### 短期指針

- オープン化:利用の制限など排他的な部分を取り除き、誰もが利用・参加できる地域に開かれたコミセン・協議会にする。
- 利用者・未利用者目線:利用の幅・利便性を広げ、未利用者のきっかけづくりと、コミュニティ活動を豊かにする。

### 活動評価の指針

- 人と人・人と団体・団体と団体のつながり(知る・参加する・協力する)ができたか
- コミセンを知ってもらえたか
- コミセンに来てもらえたか

## ■ コミセンの運営(ソフト面)

---

### 会則の改正

- 所在地と設立年月日を追加した。
- 運営委員会での運営委員選出を廃止した。
- 役員の人数を変更した。

### 利用について(利用規則)の改正

- 文面の整理を行った。
- 禁止項目(電気機器の使用・麺類の飲食)を削除した。
- 予約回数を月4回から月5回に変更した。

### その他

- 昨年度より通信カラオケを導入したが、コロナ禍でカラオケができないため一旦解約した。またカラオケができるようになったら再導入の検討を行う。
- フリーWi-Fi提供の試行を行った。アンケートも行い17件回収した。否定的な意見はなく、概ね必要性を訴えるものだった。全コミセンへの導入を希望する意見もみられた。2021年度以降も提供を続けることになった。
- コミュニティ研究連絡会主催のオンライン活用研究会(12月1日・15日・28日、1月19日・25日、2月9日、3月6日)に2名参加した。また、3月20日に開催された学習会に5名参加した。
- 小中学生の個人利用申請書を住所・電話番号記入から学校名・クラス記入に変更した。
- コピー機のリース契約を更新した。ロビーにあったコピー機は使用頻度が低いので解約とした。
- 会計業務効率化のために現金取引を基本的にやめて引き落とし・振込での支払に変更した。
- 桜野小2年生の授業用にコミセン紹介ビデオを作成した。

## ■ コミセンの運営(ハード面)

---

- 開館日数:223日
- 定休外休館:83日(新型コロナウイルス感染症拡大防止対策(4月:25日間・5月:27日間・6月:26日間・7月:5日間)、7/5の都知事選挙は長期休館中)
- 一般利用者用のWi-Fiルータを1Fと3Fに設置した。
- 長期休館中に1Fのフローリングが浮いてしまったため修繕してもらった。その他カビが生えたり、人が利用しないと傷むことが分かった。
- すべてのガラスに飛散防止フィルムが設置された。
- 熱中症予防のため体育室にエアコンが設置された。
- 新型コロナ対策の換気のため全室に網戸が設置された。
- 関前コミセンよりチラシラックをいただいた。
- 1Fに防犯カメラが設置された。
- 2021年度コミュニティ助成事業(宝くじ補助金)相当の備品購入が決まった。
  - 傘の水払い 2台
  - 学習机・椅子 5セット
  - スタッキングチェアー 15脚
  - 折りたたみステージ 2台
  - 音響システム 1セット

## ■ 新型コロナウイルス感染症対策関係の記録

---

※本部会議=武蔵野市新型コロナウイルス感染症対策本部会議

日付	内容
2月25日	第4回本部会議の決定により3/17までのイベントを中止・延期とした。
2月28日	第5回・第6回本部会議の決定により <b>3/2～3/17まで休館</b> となった。この間の予約はすべてキャンセルとなった。予定されていたイベントも中止・延期となった。
3月11日	第10回本部会議の決定により <b>3/31まで休館</b> が延長された。
3月18日	西部コミセンの玄関のみを開け4/1～4/18までの予約受付を1日限りで行った。
3月19日	第11回本部会議の決定により <b>4/14まで休館</b> が延長された。この間の予約はすべてキャンセルとなった。
4月2日	第14回本部会議より <b>5/10まで休館</b> が延長された。4/18までの予約はすべてキャンセルとなった。
4月6日	第15回本部会議の決定により住民総会の開催方法の変更依頼があった。
4月7日	<b>政府より緊急事態宣言が発令された。</b>
4月9日	運営委員会にて住民総会の開催方法を文書で行う形に変更した。
5月6日	第2回緊急武蔵野市新型コロナウイルス感染症対策本部会議にて <b>5/31まで休館</b> が延長された。
5月25日	政府より緊急事態宣言が解除された。
5月27日	第29回本部会議より <b>7月上旬まで休館</b> が延長された。
5月29日	「武蔵野市公共施設等の再開に関するガイドライン(第1版)」リリース
6月4日	研連定例会にて再開後の運営方針の検討を行った。
6月11日	運営委員会にて7月の運営方針を検討を行った。
6月15日	研連代表者会議にてコミセンの再開後の運営を確認した。
7月7日	<b>127日ぶりに開館した。</b> 閉館時刻は17:00。館内消毒作業のため窓口は3人体制。
7月16日	運営委員会にて8月15日以降の利用ルールについて決定した。
8月27日	運営委員会にて9月15日以降の利用ルールについて決定した。 <b>和室・視聴覚室の再開</b> を決定。
9月17日	運営委員会にて10月1日以降の利用ルールについて決定した。 <b>体育室・調理室の利用を再開</b> した。窓口を2名体制とした。閉館時刻を21:00にした。
10月15日	運営委員会にて11月1日移行の利用ルールについて決定した。
11月19日	運営委員会にて12月1日移行の利用ルールについて決定した。 <b>囲碁・将棋・茶道を再開</b> した。
1月7日	<b>緊急事態宣言発出</b> に伴い閉館時刻を20時とした。
2月7日	緊急事態宣言延長に伴い閉館時刻を20時のままとした。
3月7日	緊急事態宣言再延長に伴い閉館時刻を20時のままとした。
3月22日	緊急事態宣言解除により閉館時刻を21時に戻した。

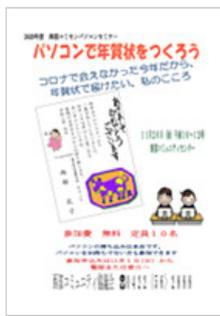
## ■ イベント



11/9-12/13  
ミニミニ展覧会



11/29  
ヒンメリ・ワークショップ



11/20  
パソコンセミナー



1/8  
新春いけこみ実演



1/30  
上映会「ケアニン」



1/31  
上映会「ママをやめてもいいですか」



2/17  
健康づくり出前講座



2/23  
味噌を手作りしてみよう



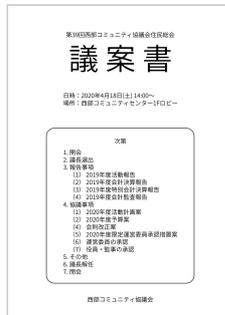
3/14  
ベーゴマ大会



3/28  
コミセンウォーキング

## 4月18日(土) 第39回住民総会

参加人数:8名



議案書

武蔵野市の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で休館中に加え、政府より緊急事態宣言が発令されたので、例年の多くの人が集まって行う方式ではなく、事前に議案書を配布し開催日までに議決権行使書を提出してもらう方式とした。関係者への告知は外出を控えなければならない中、運営委員の人海戦術も使えず苦労した。インターネットでの連絡手段が必要だ。開催当日は役員だけがコミセンに集まり意見の集約を行った。議案書は61部配布(ダウンロード含まず)し、議決権行使書は26通集まり全ての議案は承認された。

【追記】決算書・予算書に誤りがあったため後日訂正と周知を行った。

## 4月28日(火) 健康づくり出前講座

健康づくり支援センターでも人気の「背骨コンディショニング」を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で中止となった。

## 5月16日(土) 武蔵境ピクニック

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で中止となった。

以下、中止イベント多数のため活動開催状況(一覧)を参照してください。

## 11月9日(月)～12月13日(日) ミニミニ展覧会

作品数:53点／出展者数:27名(親が代表で出展している家族も含む)



展示の様子1



展示の様子2

コロナ禍でもできる文化祭をどう実現するか考えたイベント。昨年は2日間で1300人も集まりエアコンが効かないくらい密になった文化祭を、内容を展示に絞りさらに一般公募個人作品のみで点数を抑え、来館者が分散するよう長期間開催とした。1Fロビーと3Fギャラリースペースを活用し、絵画・写真・書・工芸・手芸・絵本・自由研究・

工作など、子どもから大人まで様々な53点の作品展示となった。

人数制限なしで行っていたワークショップについても事前登録制にし人数を絞り広い部屋で開催することで密を避けた。

市報で知ったと言って出展しに来てくれた方と作品の話で盛り上がったり、「コロナ禍でも、こういう風にやればイベントができるんですね」との嬉しい感想もいただいた。期間途中に開催を知り作品を持ってきてくれる方もあり、少しずつ展示が変化していくちょっと変わったイベントとなった。

## 11月20日(金) パソコンセミナー

参加人数:11名



会場の様子



年賀状づくり

今年度は新型コロナ流行のため、1回のみで開催となった。「コロナで会えなかった今年だったから、年賀状で気持ちを届けよう」を合言葉にして、Wordを使っての年賀状づくりを行った。約2時間のセミナーでほとんどの参加者が作品を完成させ印刷までできた。例年行っている終了後の茶話会は感染予防のため、断念したが、お互いに教え合うなど楽しいひとときをすごすことができた。制作した作品は、新年の開館から約半月間、ロビーに展示した。

## 11月20日(金)・21日(土) 東京都立大学の施設利用状況調査



調査の様子(他コミセン)

2018年にも行われた、コミセンの建物と利用のされ方と利用者の行動の調査。利用者アンケートと15分毎に人の位置を記録した。調査は更に12年前にも行われていて、2018年は10年間でどう変わったか、2020年はコロナ禍の影響がどうだったかを調査してくれた。調査結果は修士論文となり、3月の役員会で調査を行った都立大大学院生の入江氏が報告してくれた。来館者の減少はコロナの不安と飲食ができないことが大きく関係しているとのこと。現状、コミセンでないといけないことがある場合の利用のみになっている。安全対策とその周知をすること、屋外などの利用も含め飲食できる場所を確保することを考えないといけない。

## 11月29日(日) ヒンメリ・ワークショップ

参加人数:

10:00の部 大人6名／子ども5名／スタッフ4名+利用者Sさん

14:00の部 大人9名／子ども6名／スタッフ6名+利用者Sさん



できた!



オンラインで格闘中



ヒンメリの作り方

ミニミニ展覧会中に行ったワークショップ。講師は日頃よりコミセンに面白い作品を紹介してくれるSさん。地域の方と密にコラボした企画。距離は離れても繋がりは密に。

コロナ禍ということで、14時の回はZoomによるオンラインを並行して行った。コロナの影響で会場ではなくオンラインを希望する方も多かったと思うが、事前の申し込みは少なく、会場が満席近くなってから、オンラインの参加申し込みが6名あった。オンラインでの参加者には、事前に材料一式を渡しておいた。

ヒンメリは糸と幾何学の組み合わせで、糸の掛け方を理解するまでは大変。でも手を付け始めたときは頭の中がパンク寸前だった人も、2つめを作る頃には要領を得て無事みんな作ることができた。繊細なヒンメリはクリスマスの装飾にもピッタリ。作品の一部は3Fギャラリーに展示し、ミニミニ展覧会に華を添えていただいた。

## 1月8日(金) 新春生け込み実演

参加人数:12名



ライブ実演中

草月流後藤麗美先生にロビーにて生け込みを実演していただいた。用意した松や千両などのお花の特性や流派などのお話を聞きながら、新年を祝う地域の皆様とやすらぎのひとつを過ごした。その後はロビー玄関に飾り置きし、来館された方々には楽しんでもらえたのではないだろうか。

## 1月30日(土)・31日(日) 上映会

参加人数:30日42名・31日40名



涙々の上映会

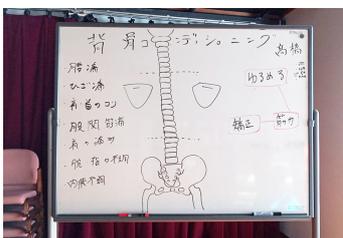
コロナ禍でも換気をしっかりすればできるイベント。暗幕とカーテンを兼ねていたため窓から入る風で光漏れがときどき起こってしまった。換気の間所を考えた、暗幕の構造を変える工夫が必要。とはいっても若干光漏れが起こってもそんなにストレスではない。各回最大23名とし、座席間にスペースをつくった。

作品は自主上映会でしか観られない上質な2本を上映した。30日は「ケアニン～あなたでよかった～」、31日は「ママをやめてもいいですか」。視聴後のアンケートでも好評だった。ケアニンでは出演者のご家族も視聴され、広報部で

お話を伺う機会を得られた。

## 2月17日(水) 健康づくり出前講座

参加人数:16名/センター3名



説明もしっかり



これから始まります

健康づくり支援センターの大人気企画「背骨コンディショニング」が西部コミセンに初登場。講師の先生と一緒に、距離を意識しながら背骨の状態を整えるストレッチをした。終わった後は全身スッキリ!筋トレは週2回、ストレッチは毎日!好評につき新年度早々に第2段を計画中。

## 2月23日(火・祝) 味噌を手づくりしてみよう

参加人数:午前の部4名/午後の部4名/スタッフ4名



一晩水に浸けてます



完成です

味噌づくりはコロナ禍でもできる調理イベント。大豆と塩、こだわりの米麴を使用し、昔ながらの製法で丁寧に味噌を仕込んだ。作った味噌は持ち帰り、半年間じっくり熟成させる。

前日に運営委員で試作を行ったため、器具の使い方・調理の時間や手順を確認できた。3日前から準備し、大豆の時間を逆

算して事前にスタッフで煮始めた。豆を潰して麴とまぜ、参加者全員予定より早く作ることができ、みなさん喜んでいた。こねたときの筋肉痛は大丈夫だっただろうか。秋には味噌の味見会をしたいねと盛り上がっていた。

## 3月14日(日) ベーゴマ大会

参加人数:16名



試合前も楽しく遊ぶ



激戦の結果



憧れの賞品

当日1名のキャンセルが出たので参加者の親御さんに声をかけたところ「ベーゴマを回せる」とのことで急遽参加してもらった。また当日ベーゴマをやっているのを見かけ「面白そう」ということで、もう1名飛び入り参加してもらった。参加者のうち2名はまったくの初心者だったが、最後には回せるようになってしっかり試合に参加してもらえた。

試合に使うベーゴマはボスカや油性マジックで思い思いに即席デコができるようにした。実際に回してみても色が見え具合で何度も塗装を変えてみたり、加工の楽しさもあったようだ。

試合に参加はしなかったものの吉祥寺から市報を読んだと言って駆けつけてくれた方がいた。昔(子どものころ)はベーゴマは5円だったなどの昔話を聞かせてくれたり、紐の使い方や固く結ぶことを教えてくれたりした。試合は人数が少ないので総当たりにしたが、それなりに時間がかかってしまった。次回があるとなれば少人数でも総当たりはやめた方がいいだろう。景品の鬼滅の刃インスパイア・デコベー(3個)も好評で、3位までに入るために皆さん頑張って戦っていた。結局、急遽参加の親御さんと中一の子が勝ち数が同数で1位となり、優勝決定戦で中一の子が優勝となった。時期的にはもっと暖かい頃がいいかもしれない。

桜堤児童館にベーゴマの床をお借りした。

## 3月21日(日) 工作の会「釘を打ちまくれ!コリントゲームを作ろう」

参加人数:15名/スタッフ4名



釘打ちまくり中

毎年、おもちゃを手づくりしている。今年は木工工作でコリントゲームを作った。ただし、1日で作るのには到底無理なのでベースになる部分は事前に作っておき、当日は板面に絵を描いたり釘を打つ作業を行った。作業が進めば進むほどもっと作り込みたくなり、時間はいくらあっても足りない様子だった。どうにか予定の2時間を若干オーバーして完成することができた。それぞれ個性ある絵や仕組みで作ってくれた。できあがった人から自分の作ったものを遊んでもらったりした。ビー玉と釘がカラコロンといい音をたてていた。文化祭などで実際に遊べる出展ができれば面白いと思った。

# 3月28日(日) コミセンウォーキング「武蔵野八景を訪ねて」

参加人数:17名/スタッフ9名+講師2名



講師による解説

当日は曇り空を気にしながらも、30数名を2班に分け1時間の差をつけてコミセンから出発した。桜咲く景色の中、ウォーキングしながら武蔵野市指定文化財となった武蔵野八景碑がある杵築大社をめざした。大社に到着後、亜細亜大学の大山岩根准教授から、境の開駅10周年記念に地域の人々が自然あふれる境を詩に込めたという資料をもとに解説を受けた。それは当時の境に住む人々の地元を愛おしく思う情景ばかりだった。次に名誉神主の窪田様から大社の由来などを語っていただき、各々境内を散策しながら現地解散となった。

## 奇数月第2火曜日 生活習慣病予防料理講習会

今年度はすべての回が中止となった。

## ■ 広報部

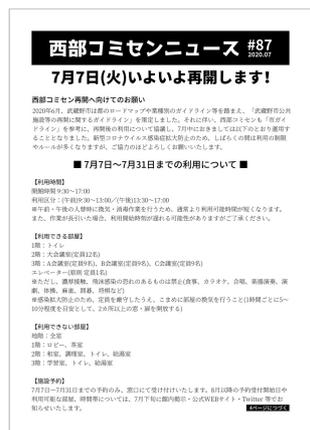
## むさしのFM「マイシティむさしの ゲストトーク」出演

西部コミセンの担当は5月22日・10月30日・2月26日の計3回。

- 5月22日:1回目の緊急事態宣言まただ中で、コミセンは3月から休館が続き、都民は外出自粛期間中だった。この回の前後は協議会としての活動はまったくなく提供できる話題がなかったため、色々なメディアで見聞きた「コロナ禍でのコミュニティ活動実践例」を紹介した。
- 10月30日:コロナ対応により電話での出演。地域のみなさんの作品を集わずに展示できないかを考えて、ミニミニ展覧会を開催決定したことで、ヒンメリワークショップ、Zoomを使った初オンラインワークショップの宣伝と、例年開催のパソコンセミナーの案内をした。
- 2月26日:コロナ対応により電話での出演。コロナ禍で西部コミセンが実践した活動を紹介し、今後の予定として、ベーゴマ大会、工作の会、コミセンウォーキングを紹介した。

## 西部コミセンニュース発行

4ページで構成する広報紙。境・桜堤地域にポスティングしている。今年度は87号(7月)、88号(10月)、89号(3月)と年3回発行した。残念だったのは、新型コロナウイルス感染症のため段階的に変更された開館時間や利用方法などを周知する内容が多かったこと。徐々にイベント事業が再開され、年度内最後の89号はコロナ以前の明るい紙面に近づけたのではないかと思う。運営委員・協力員の減少、高齢化によりニュースを配布できない地域が発生している問題は解決できずにいる。また、境・桜堤地域の10,000を超える戸数を西部コミセン一館で担う負担は大きい。届く・届かないによる情報アクセスの不平等をなるべく無くすことも課題ではあるが、負担とのトレードオフの関係にある。



西部コミセンニュース87号 1面



西部コミセンニュース88号 1面



西部コミセンニュース89号 1面

## 市報むさしの コミュニティ・レポート寄稿



西部コミセンの担当は8月15日号『コミセンとWi-Fiと「新しい生活様式」』の1回のみだった。桜野地域社協さんにご協力いただき、会議でWi-Fiを活用している様子を撮影させていただいた。

市報むさしの8/15号より

## 自主企画イベント事業におけるポスター・チラシの作成

今年度は事業が少なかったため、新規に作成したポスター・チラシは少しだけだった。

## SNSによる情報発信と今後の課題

今年度ほどツイッターの即時性を活かした年度はないのではないと思うほど、休館のお知らせ・開館時間や利用方法の変更など日々変わっていく情報を、こまめに素早く広報することができた。イベント事業が再開されてからは参加者募集のお知らせ等も発信し、市報やコミセンニュースに馴染みが薄い層への情報伝達の補完ができたのではないと思う。一方でSNSの本来の姿の「情報交換しながら人と人が繋がること」はまったくできていないという課題がある。一方的な情報発信という運用だけでは情報の広がりもかなり限定的だ。繋がろうとしない人に繋がりができるわけない。今後は繋がるような運用にしないといけない。



西部コミセン公式ツイッター

<https://twitter.com/seibukomisen>

## WEBサイトの再構築

リニューアルを検討していたが、力不足で手がまわらなかった。デザインや操作性を高めるのはもちろん、利用者が求める情報に簡単にたどり着ける設計が何より重要。ただし、WEBサイトの維持はマルチデバイス対応なCMSの導入がなければこういうスキル(設計・コーディング等)が必要。その他、過去記事や資料のアーカイビングという課題もある。現在のWEBサイトを一部の委員を頼りに維持するのか、いっそブログのようなCMSを導入し投稿しやすく誰でも管理できるシステムに変更するのか、判断が必要な時期ではないだろうか。現時点ではできるだけ更新しない方針で運営している。



西部コミセンWEBサイト

<https://seibu-c.sakura.ne.jp/>

## チラシラック・館内掲示板の管理

関前コミセンさんに大きなチラシラックを2台譲っていただいたのを機に、チラシや冊子類を種類ごとに見やすく整理整頓し、利用者の目にとまりやすいような配架をすることを心がけた。

館内掲示板に貼るポスターの管理も行ったが、掲示板の位置が低いためこまめな貼り替え作業がしにくく、思うように貼り分けをすることができなかった。

## その他

今年度は外部の取材などはなかった。

## ■ 防災部

### 組織について

総務防災部(防災)は総務部の中で防災を担当する。一堂に会する機会が少ないため、メールやスマホも活用して意見交換と意思統一をしてきた。

### 今年度の活動

#### (1) 防災訓練

日時:2021年2月18日(木)12:15～12:50

参加人数:20名

今年度はコロナ流行に伴い1回のみ開催となった。また管外での研修や館内の訓練も利用者・消防署・消防団の参加も困難という制約の中で運営委員を中心にして行った。内容はインターネットを使つての東京消防庁作成の啓発動画の上映、館内の状況や設備、避難経路の再確認、119番通報の練習、などを行った。

### 今後の課題

運営委員会、役員会、他の部会とも連携して以下のことを検討する。

- 桜野地域防災ネットワークの諸事業には構成員として参加する
- 管内の防災組織(避難所運営組織、地域・団地・マンション等の自主防災組織)との連携
- 発災時を想定した、支え合いステーションの開設などの検討
- 自主防災組織、自衛消防隊などの検討

## ■ 総務

- 窓口ミーティングを隔月で1時間開催としていたが、目まぐるしく変化するコロナ対策の状況に対応するため、11月から毎月30分開催とした。
- 毎月のように運営委員会にて、コロナ禍でもできるだけ施設利用ができるようにルールや安全対策の検討を行った。
- 調理室では木製のまな板を用意していたが古いことと衛生面を考慮してプラスチック製のものに変更した。
- 3Fギャラリーでは、11月にミニミニ展覧会、正月に書道、2・3月はひな人形等を展覧いただき展示した。
- 昨年に引き続き備品管理の準備を進めている。



書道(年末年始)



雛人形(2月～3月)

## ■ 課題

地域に参加できない人たちとのつながり、部屋の利用方法の提案やイベントの内容検討、また、「『コミュニティ』と『市民活動』と『学び』」の相乗的イベントや研修会など、昨年課題としたことも課題なのではあるが、コロナ禍の状況は今後そう早い時期に解消されるとは考えづらく、これからの1年はコロナ禍でのつながりづくりの模索を続けることが課題なのかもしれない。前例や今までの考え方にとらわれずいろいろ試してみよう。

# 令和2年度 決算書

## 【 西部コミュニティ 協議会 】

### ■委託費の部

収入額	6,120,000
支出額	4,105,920
精算額	2,014,080

<収入> (円)

項 目	当初予算額	予算現額(A)	収入済額(B)	( A - B )
指定管理委託費	6,120,000	6,120,000	6,120,000	0
合 計	6,120,000	6,120,000	6,120,000	0

<支出> (円)

項 目	当初予算額	予算現額(A)	支出済額(B)	( A - B )
窓口当番手当	5,920,000	5,920,000	4,105,920	1,814,080
修繕料	200,000	200,000	0	200,000
合 計	6,120,000	6,120,000	4,105,920	2,014,080

### ■補助金の部

収入額	3,489,703
支出額	931,866
予備費	2,557,837

<収入>

項 目	当初予算額	予算現額(A)	収入済額(B)	( A - B )
市補助金	2,209,000	2,209,000	2,209,000	0
前年度繰越金(予備費)	1,280,652	1,280,652	1,280,652	0
雑収入	100	100	51	49
合 計	3,489,752	3,489,752	3,489,703	49

<支出>

項 目	当初予算額	予算現額(A)	支出済額(B)	( A - B )
事業費	905,854	905,854	172,745	733,109
運営費	360,000	360,000	61,104	298,896
消耗品費	423,000	423,000	288,006	134,994
印刷製本費	400,000	400,000	228,319	171,681
通信・交通費	131,000	131,000	127,074	3,926
研連負担金	20,000	20,000	20,000	0
備品費	100,000	100,000	34,618	65,382
予備費	1,149,898	1,149,898	0	1,149,898
合 計	3,489,752	3,489,752	931,866	2,557,886

令和 3年 4月 4日

会計氏名

梁井記代

代表者氏名

大と 茂雄

上記の決算について監査の結果、適正であることを認めます。

令和 3年 4月 4日

監 事

田中雅文

監 事

西強廣子



## 2021年度活動計画(案)

開催日	活動名	備考
4月 17日 (土)	第40回住民総会	運営費
4月 28日 (水)	健康づくり出前講座	
未定	第14回武蔵境ピクニック	延期
未定	地域懇談会	運営費
未定	第10回コミセンまつり	
5月 21日 (金)	パソコンセミナー(1回目)	
6月 未定	エンディングノートを学ぼう	
未定	カラオケ大会	
7月 15日 (木)	防災訓練	運営費
未定	石鹼を手作りしてみましよう	
7月 未定	夏休みコミュニティ食堂	
8月 未定		
9月 未定	フレイル体操	ケアハウス主催
9月 未定	ポッチャ大会	
10月 10日 (日)	太極拳・気功の集い	
10月 30日 (土)~31日(日)	文化祭	
11月 13日 (土)	バドミントンの集い	
11月 19日 (金)	パソコンセミナー(2回目)	
12月 4日 (土)	年末大掃除	運営費
1月 7日 (金)	活け花実演	
1月 8日 (土)	工作の会	
1月	どんど焼き(二小・桜野小)	青少協主催
1月 29日 (土)	味噌づくり	
2月 3日 (木)	防災訓練	運営費
3月 5日 (土)	ちびっこ運動会	
3月 13日 (日)	卓球の集い	
未定	ベーゴマ大会	
3月 26日 (土)	コミセンウォーキング	
月1回(水)	コミセンカフェ	コーヒー会計
月1回程度	おもちゃの病院	内容未定
未定	コンサート	
未定	運営委員研修会	運営費
	コミセンデー(※)	

※期首に計画されていないもの

諸事情により予定は変更になることがあります。予めご了承下さい。

## 令和3年度 予算書 (案)

【 西部コミュニティ 協議会 】

### ■委託費の部

収入額	6,120,000
支出額	6,120,000

<収入> (円)

項 目	予算額	説明
指定管理委託費	6,120,000	
合 計	6,120,000	

<支出> (円)

項 目	予算額	説明
窓口当番手当	5,920,000	305日×6人×4時間×780円+α
修繕料	200,000	
合 計	6,120,000	

### ■補助金の部

収入額	4,396,937
支出額	4,396,937

<収入>

項 目	予算額	説明
市補助金	1,839,000	
前年度繰越金	2,557,837	
雑収入	100	
合 計	4,396,937	

<支出>

項 目	予算額	説明
事業費	775,000	イベント等
運営費	300,000	
消耗品費	423,000	
印刷製本費	400,000	コピー機リース等
通信・交通費	125,000	
研連負担金	20,000	
備品費	1,113,000	例年+宝くじ補助金相当
予備費	1,240,937	
合 計	4,396,937	

令和3年 4月 17日

協議会名

西部コミュニティ協議会

代表者氏名

大上 茂雄

## 令和3年度 特別会計予算書(案)

### 【 西部コミュニティ協議会 】

収 入 額	1,377,315
支 出 額	1,377,315

#### <収入> (円)

項 目	予 算 額	説 明
前年度繰越金	1,311,315	
売上	56,000	自販機・ピアノ
雑収入	10,000	祝儀・利息
合 計	1,377,315	

#### <支出> (円)

費 目	予 算 額	説 明
修繕費	24,000	ピアノ調律
仕入れ	0	
支払い手数料	0	
交際費	60,000	
次年度繰越金	1,293,315	
合 計	1,377,315	

令和3年 4月 17日

協 議 会 名

西部コミュニティ協議会

代 表 者 氏 名

大上 茂雄

## 2021年度運営委員名簿

### ■運営委員

	名前	住所	備考
1	赤間 照子	境5	
2	秋本 正	境1	
3	今井 和代	境2	
4	梅本 和男	境3	
5	大上 茂雄	桜堤1	
6	大上 由紀子	桜堤1	
7	大谷 和彦	桜堤1	
8	大鷲 美津江	境5	
9	小川 恵美子	桜堤1	新
10	川口 明子	桜堤2	
11	酒井 尚登	境1	
12	佐藤 佳子	桜堤1	
13	三本木 由実子	桜堤1	
14	鈴木 康夫	桜堤1	
15	高田 幸子	桜堤1	
16	高橋 淳子	境3	
17	高橋 知子	境5	新
18	高橋 まゆみ	境5	新
19	高橋 幸代	桜堤2	
20	竹内 登	境3	
21	田中 雅文	境4	
22	田村 仁良	桜堤1	
23	土屋 清枝	境5	
24	鶴田 仁美	桜堤2	
25	新美 宜子	桜堤2	新
26	西堀 廣子	桜堤2	
27	西村 咲穂里	境5	
28	平野 薫	境1	
29	武藤 聖子	桜堤2	
30	村野 ゆり子	境3	
31	梁井 記代	境3	
32	山崎 香奈子	桜堤2	
33	山本 伊津子	境5	新
34	山谷 美和	境4	
35	横山 勇	桜堤2	

### ■役員

会長	高橋 淳子
副会長	大鷲 美津江
副会長	竹内 登
副会長	平野 薫
副会長	梁井 記代
会計	西堀 廣子
会計	横山 勇

### ■監事

監事	秋本 正
監事	今井 和代

## 西部コミュニティ協議会会則

本協議会は、市民の市政参加による武蔵野方式により、地域住民の住民による住民のためのコミュニティづくりを目指します。

生活環境（道路・緑化・地域改造）や、教育・文化・健康問題をみんなで考え話し合い、私たちの街として誇れる明るいまちづくりを進めましょう。

そのために、私たち一人一人が集いに参加してまちづくりの担い手となりましょう。

（名称・所在地）

**第1条** 本会は、西部コミュニティ協議会（以下「協議会」）と称し事務所を、西部コミュニティセンター（東京都武蔵野市境5丁目6番20号）内に置く。

2 本協議会の設立年月日を昭和58年5月14日とする。

（構成）

**第2条** 本協議会は、桜堤・境全域を対象としその住民をもって構成する。

（目的）

**第3条** 本協議会は、地域住民相互の交流と文化・スポーツの諸活動を通じて明るく、豊かな街づくりを進めることを目的とする。

（事業）

**第4条** 本協議会は、前条の目的達成のために、次の事業を行う。

- （1） 地域住民のコミュニティ活動に関すること。
- （2） コミュニティセンターの管理運営を行う。
- （3） その他目的達成に必要な事項。

（組織）

**第5条** 本協議会は、総会・運営委員会・役員会をもって運営する。但し必要に応じて、専門部会を設けることが出来る。

（総会）

**第6条** 総会は、地域住民全体を対象とし、年1回の定期総会及び必要に応じて、臨時総会を開く。

**第7条** 総会は、市報を通じて招集し、当日の参加をもって、議事を進行する。

**第8条** 総会は、次の事項を審議する。

- （1） 事業報告・事業計画及び決算・予算並びに監査報告。
- （2） 運営委員、監事及び役員承認。
- （3） その他の提案事項

（運営委員）

**第9条** 運営委員は、第2条で規定される構成員より、運営委員会が募集し、総会で選出される。

（運営委員会）

**第10条** 運営委員会は、運営委員をもって構成される。

**第11条** 運営委員会は、必要に応じ、会長が召集する。

**第12条** 運営委員会は、次の事項を審議する。

- （1） 総会に提案すべき事項。
- （2） 第4条に定めた事項に関する必要な事項。
- （3） 運営委員、監事および役員の人事に関する必要な事項。
- （4） 運営要綱の制定・改訂に関すること。

(役員会)

**第13条** 本会は、その運営のために、次の役員を置く。

会長1名、副会長若干名(4名以上)、会計2名

2 役員は運営委員で互選し、総会で承認するものとする。

**第14条** 役員会は、前条の役員をもって構成し、必要に応じ会長が招集し必要事項を審議する。

**第15条** 役員の任務は次の通りとする。

(1) 会長は、本協議会を代表し、会務を統括する。

(2) 副会長は、会長を補佐し会長に事故あるときは、その職務を代行する。また、庶務全般の統括、事業、書記および会計事務を分担して担当する。

(3) 会計は会計事務を担当する。

2 会長は、運営委員の中より、窓口担当者を任命する。

(監事)

**第16条** 本会は、監事2名を置く。監事は運営委員で互選し総会で承認するものとする。

2 監事は会計及び事業の監査を行い、その結果を総会に報告する。

(議決)

**第17条** 本協議会の会議の議決は、出席者全員の合意を原則とするが、止むを得ぬ場合は、出席者の過半数の賛成をもって成立する。

(役員及び監事の任期)

**第18条** 役員及び監事の任期は、2年とする。但し再任は妨げないが同一役職は3期までとする。

2 補欠により就任した役員及び監事の任期は、前任者の残任期間とする。

(会計)

**第19条** 本協議会の会計は、武蔵野市よりの補助金及びその他の寄付金等をもって充てる。

**第20条** 本協議会の会計年度は毎年4月1日より始まり翌年3月31日をもって終わる。

(会則の改廃)

**第21条** 本会則の改廃は、総会の議決による。

**付 則**

本会則は、昭和58年5月14日より施行する。

一部改正。昭和60年3月24日、昭和62年4月5日、平成3年4月28日、平成4年4月19日、平成5年4月25日、平成13年4月22日、平成22年4月25日、平成23年5月1日、平成24年4月22日、平成26年4月20日、平成29年4月15日。

**附 則** (令和2年4月18日)

この会則は、公布の日から施行する。

## ■添付資料

- 西部コミセン利用状況（月・部屋別利用人数）
- 2020年度活動開催状況（一覧）
- 2020年度活動報告
- 2020年度決算書
- 2020年度特別会計決算書
- 2021年度活動計画（案）
- 2021年度予算書（案）
- 2021年度特別会計予算書（案）
- 2021年度運営委員名簿（案）
- 西部コミュニティ協議会会則

## 西部コミュニティ協議会

〒180-0022 武蔵野市境5-6-20

☎ 56-2888（9:30-21:00）

✉ seibu-c@bz04.plala.or.jp

🐦 @seibukomisen

🌐 <https://seibu-c.sakura.ne.jp/>

西部コミュニティ協議会はまちづくり・コミュニティづくりを目的とし西部コミセンを拠点として活動する団体です。